

昭和後期に来日したマエストロたち  
中館 輝厚 (S-9348・東京)

第二次世界大戦後の経済復興期に、わが国のクラシック音楽界も著しい発展を見せた。その要因として、欧米先進国から来日したマエストロたちの影響は計り知れない。

彼らの来日の歴史を切手やカバー、カードなどとともに回顧する。

昭和後期に来日したマエストロたち

メニューイン

昭和26年(1951)10月

ヴァイオリニスト、ユーディ・メニューイン(1916～1999)は戦後いち早く来日し、白樺から改組、改称したばかりのNHKと協演し、近衛秀雄指揮のもと3回の協奏曲のコンサートに出演した。ロンドンに帰国後バース音楽祭を組織、室内楽団を結成して指揮活動を華やかに展開した。

メニューイン/生誕100年記念印  
切手はドイツ音楽切手グループ作成

メニューイン没年メモリアル消印  
イギリス音楽切手サークル特製  
メニューインはフィラテリストとしても  
著名で同サークルの名譽パトロンだった

Honorary Patron of  
The Philatelic Music Circle  
since its inception

晩年はヴァイオリン独奏より指揮活動の方が多かった

First Day Cover & Social Handstamp  
designed by: Mr. Neil A. Williams ©,  
The Neil Williams Classical Collection,  
c/o 3RD Millennium Music, Ltd.,  
23 Avon, Hockley, Tamworth,  
Staffordshire, B77 5QA.

昭和後期に来日したマエストロたち

カラヤン

昭和29年(1954)4月

ヘルベルト・フォン・カラヤン(1908～1989)は戦後ナチ協力のため公権追放されたが、ウィーン交響楽団、ミラノ・スカラ座など復帰を果たしつつあるなか、1954年単身来日し、ひと月あまり滞在してNHKを13回指揮した。

カラヤン

カラヤンセンター  
10周年記念。  
色違い12種初日  
初日カバー

Karajan

生誕75年記念  
消印、1983年  
ザルツブルク局

1954年はフルトヴェングラー存命中で、まだパトリック・フィルとの関係や、ウィーン国立歌劇場総監督就任以前のことだった。当時のNHK当局的英訳が記録される。

昭和後期に来日したマエストロたち

カザルス

昭和36年(1961)4月

20世紀最大のチェロの巨匠パブロ・カザルス(1876～1973)が唯一回の訪日、慶弟子、平井一一郎をリストとして美濃、京響をパットリ・ボッケーニ、シューマン、ドヴォルジャーク、ラロのチェロ協奏曲を指揮した。平井は師匠の指揮のもと4曲の協奏曲を弾きこなした。まさに画期的なコンサートだった。

MUSICA UNIVERSALIS

PRIMER DIA DE CIRCULACION

PAU CASALS

Mr. Daniel J. Donovan  
34 Harwood Avenue  
White Plains, New York 10603  
U.S.A.

カザルス生誕100年カバー  
マドリッド→ニューヨーク、初日美濃

生誕130年、フランス

20世紀のスーパースター、  
アンチグア・バーブダ

カザルスは卓越したチェリストのみならず指揮者、ピアニスト、作曲家、教育者としても偉大な功績を残した。加えて何よりも時代の平和主義者として知られている。

生誕130年記念MC、アンドラ公国